



三宅 賢一

株式会社 大林組

設計本部プロジェクト設計第4部

日本建築美術工芸協会 法人会員

「環境建築の未来」とテーマを掲げられた講演会は、*-Green building+lots=ZEB-* というキーワードと、半田の美しい街並みのスライドから始まりました。小さな街並みの美しい景観と、街に寄り添う「ミツカン」という企業の「やがていのちにかわるもの」というコーポレートメッセージを具現化した「MIZKAN MUSEUM」を巡る興味深いお話は、やがて*-Regenerative Architecture-*という、次世代の環境建築のあり方へと展開していきました。

### ① 景観

1804年に創業したミツカンは、海運を支える半田の運河沿いに工場など様々な施設を構えたとのこと。静かな運河に面する、黒い下見板張りの壁と、瓦屋根そして青空に突出する煙突などの景観は、場所と時間そして、一企業の活動が密接に結びついて唯一無二の景観が生み出されたものだと感じました。本社棟、実験棟、ミュージアムなどの施設計画にあたり、半田の景観の継承、保存に主眼を置き、施設配置検証や、街並みのデザインコードの読み取りなどを進められたとのことですが、BCPを踏まえた構造形式の採用、保存部分と再生範囲の検証や新しい素材の採用、ポイントで配置されるシンプルなロゴサイン計画など、様々な試みにより、単に保存にとどまらない、まさに次世代に継ぐ「継承」が実現できたのだと思います。

### ② 建築

「MIZKAN MUSEUM」については、見学動線を追って、施設内部が紹介されました。街並みに溶け込む外観の印象に比べ、スライドで紹介される内部空間は非常に大きく、おおらかな印象を受けました。景観に寄り添うファサードデザインと同様に、内部空間の構築に当たっても、展示空間の小屋組への古材の再利用や、ポイドスラブ（無梁架構）採用による階高スケール感の統一など、テクスチャ（素材感）、イメージ（感覚）の継承が綿密にかつ誠実に実践されていることに、強く感銘を受けました。ミュージアムの建築計画において、特に今回の講演テーマである「環境建築の未来」を感じたのは、下見板張りを活用した外壁ダブルスキンです。ガラスファサードの内側に、旧下見板張りの壁を保存し、蓄熱などによる、省エネを実現したとのこと。まさに、景観

の継承と、省エネを融合した環境建築の素晴らしい試みだと感じました。

### ③ 環境

「MIZKAN MUSEUM」を含む、ミツカン本社エリアの整備事業は、国交省の推進する「省CO2先導事業」として採択されたとのこと。

新築であれば、新たな技術、手法を採用し省CO2を実現することは比較的可能かと思われませんが、既存の施設を保存、継承しながらの、省CO2対策の実現は、非常に高度な環境技術に係る検証が行われたのだと思います。自然の水・風・光を最大限活用する技術として、「既存井水と太陽光集熱温水パネルによる熱源利用」「河川冷却風の煙突を介した自然換利用」「中庭水盤を利用した反射光の取り込み」「下見板張り再利用によるトロンベウォールシステム」などなど、様々な環境技術が紹介されました。それぞれの技術についてもう少し詳しくお話をお聞きしたいとも思いましたが、青空に映える煙突や、水盤の反射がきらめく軒天井、運河に面する下見板張りの黒壁など、その裏にある建築技術を徹塵も主張せず、静かにたたずむ姿は、非常に感慨深いものでした。

中庭を中心に紹介された、お祭りなど人々が集い、風や光を感じながら施設を利用されている光景は、冒頭紹介された、運河沿いの街の佇まいや、建物に施された高度な自然エネルギー活用に係る環境技術の要素と重なり、ファンタジーとロマンに満ちたユートピアのイメージが喚起されました。



講演の最後は、大震災後のパラダイムシフトを踏まえた、防災と環境や、建築のIoTと、再生可能エネルギーの活用など、まさに次世代の環境建築のあり方についての、興味深いお話しが展開されました。

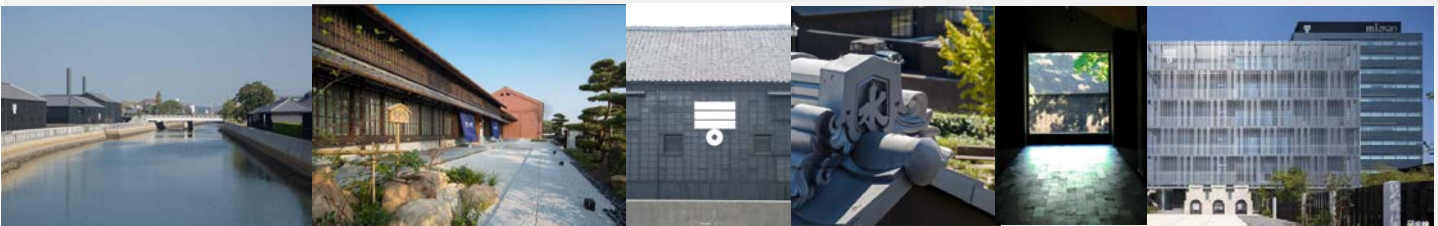
その中で、2050年に向けた先進国の、80%温暖化ガス削減目標に向かって、既に今まさに設計を進めている建物の目標は示されているのだ、というお話は、非常に印象的でした。

美しい半田の運河沿いの街並みや、ミュージアムの紹介に始まった今回の講演は、「時」と「人」を中心に据えた、「景観」「建築」「環境」が融合した次世代の環境建築のあり方が示され、建築設計に携わる者にとって、非常に示唆に富んだ内容でした。



MIZKAN MUSEUM

## 日本建築美術工芸協会 第56回 aaca講演会 「環境建築の未来」



- **講師: 横田 昌幸**  
株式会社NTTファシリティーズ  
プリンシパルアーキテクト
- **日時: 平成28年6月21日(火曜日)**  
受付 17:30~  
講演会 18:00~19:10(質疑応答含む)  
懇親会 19:20~20:00
- **会場: AGCスタジオ 定員60名(先着順)**  
東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館2階  
銀座線京橋駅 4番出口すぐ  
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分  
有楽町線銀座一丁目駅より徒歩4分  
都営浅草線宝町駅より徒歩3分
- **会費:**  
講演会: aaca会員/一般: 2,000円・学生: 無料  
懇親会: aaca会員/一般/学生: 1,000円(共通)
- **主催: (一社)日本建築美術工芸協会**  
事務局 TEL03-3457-7998/FAX03-3457-1598  
E-Mail: info@aacajp.com



講師: 横田 昌幸

### 略歴

- 1955年 静岡県浜松市生まれ
- 1978年 東京大学 工学部建築学科卒業
- 1983年 カリフォルニア大学パークレー  
College of Environmental Design卒業  
Master of Architecture
- 2012年 株式会社NTTファシリティーズ  
常務取締役 建築事業本部長
- 2015年 株式会社NTTファシリティーズ  
プリンシパルアーキテクト(現在に至る)